

H30年度 評価結果表 施設名 (ドリームケアふる 松本園)

事業所チェック表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ
環境整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	
	2	職員の配置数は適切であるか		○	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
説明責任等	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	
非常時等の対応	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		

保護者評価表 H30年6月～7月 回答数20件

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ
環境整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	14	1
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	9	2
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	9	3
適切な支援	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	5	1
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	8	1
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	12	7
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	5	1
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	8	1
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	5	2
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	6	10
	11	子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	11	0
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	8	0
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	6	0
	14	個人情報に十分注意しているか	16	4	0
等非常時対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	10	2
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	15	1
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	15	5	
	18	事業所の支援に満足しているか	12	7	1

《ご意見・ご要望》

- 発作自体を見たりした事がない方が多いように思われる。自身もまだ知識が足りない部分があるが、関わってくれるスタッフさん達の中で知らない方もいたりするので知識の共有が出来てくれていると安心する。
- スタッフが変わり過ぎ
- 玄関さきのスロープは、いつも車を停めてあり意味がないと思います
- 事務所の設備関連において、バリアフリー以外の部分でやや難有り。ドアの安全性(身長の高い子供はロックに手が届き、自由に開閉できる)、急勾配で横幅も縦幅も狭い階段。
- 個々の能力の成長に則った課題に対しての意思や支援が、現場では重要視されておらず実施もされていない。面談等も参考に作成された支援計画等の書類上に記されている活動目標において、活動内での支援者の言動を見受けるにその目標に沿った支援が施されていない。また、意思を感じられない。
- 長期休暇中は児童館や決まった施設へ遊びに行くことが多く、変化がなかった。
- 丁寧な説明はあったが、あくまで[説明]だけであること。掲げられた短期から長期にわたった支援内容に対し、現場の実態とリンク付けがされてない。例えるなら、授業参観日や面談の時のみ、理念や教育方針を熱弁する教職員。普段の支援の実態と、保護者がいる時の実態の差が激しい。支援計画は保護者に対しての気休めであってはならない。
- 迎えに行った場面で一日の子供の様子を保護者に説明。スタッフA[今日は元気に遊びました]、スタッフB[今日は機嫌が悪く寝転がっていることが多かった]。たった数時間の活動でもスタッフの見解が異なる。加えて、短期・長期目標に関連した具体的な報告が皆無。スタッフからの活動報告を鵜呑みにする事は危険だと、保護者として現時点で判断している。
- 面談は行われているが、適切な助言や指導の提案などは無し。
- 育児に対する助言はもっと欲しい
- アルコールが導入される保護者会は、話好きな方やアルコールの場がある空間を求めた保護者の参加が多い為、そういった場から真摯に保護者同士の連携が生まれるとはとても思えない。[愚痴の吐合や馴れ合い]は、[子供に対しての支援]とは別物である。